



地域とともに歩み、
地域の未来を拓く学校

湖南省立石部小学校
校報第139号

令和3年(2021年)1月15日
文責：校長 法山 由紀子

「明けない夜はない！」

令和3年(2021年) 今年もよろしくお願いします！

新しい年が明けました。

年をまたいでもコロナ禍という状況には変わりありません。けれど、「新しい一年が始まった！」というどこか凛とした身の引き締まる思いを感じています。

今年は「丑年」。牛は古来から人間を助けてくれる大切な動物であり、特に大変な農作業を最後まで手伝ってくれる働きぶりから「がまんする」「耐える」というイメージがあります。

今年はまだまだコロナが終息しない中で、がまんして耐えなくてはならないことも多いでしょう。でも、新しい一年「コロナだから」と何もせずしがまんするのではなく、「いのち」最優先にしながら、「ピンチをチャンスに変える」これまでの石部小学校の姿勢を貫いていきたいです。

がまんし、耐えながらも、今、子どもたちは知恵をしぼって考えることを止めてはいません。力を蓄えています。牛がゆっくり歩むように、一步一步子どもたちは成長しています。今蓄えた力が必ず芽を出すときが来る！ 子どもたちの勢いにはそう感じさせられる力があります。

そんな子どもたちの「えがお」のために今年も力を尽くしてまいります。どうか保護者、地域の皆様方の変わらぬご支援を今年も引き続きよろしくお願いいたします。

「明けない夜はない」！！ 「今」が「幸せ」につながることを信じて。

石部中学校区連携

石部中学校区の教職員がつながって「自尊感情を育む」取組

石部中学校区の3校(石部小、石部南小、石部中)は「石部の子どもたちの自尊感情を育む」という大きな目標を掲げて、この十年来「校区連携」の取組を続けています。

毎年3校が一回ずつ授業を公開し、校区内のすべての教員で授業をとおして児童生徒の様子を語り合い、自尊感情を育む手立てについて情報交換を行っています。今年度はコロナの影響で参加者数を限定する形となりましたが、13日(水)に本校で授業公開を行いました。

参加いただいた他校の先生方から、「落ち着いて授業が進められている」「どの学級もここにいたいなあと感じる雰囲気がある」「一人ひとりの子が大事にされている」等うれしい感想をいただきました。

最後に全員で「自尊感情を育むためには安心感のある学級づくりが大切」ということを確認しました。



不審者対応訓練を行いました(1/12)

今年度3回目の避難訓練は、不審者が校内に侵入したことを想定してどのように対応すればよいかを確認しました。実際あってはならないことですが、万が一に備えて、子どもたちは、先生の指示に従って落ち着いて真剣に行動できていました。

不審者役の教頭先生からは「声をかけられたり、人が集まってこられたりすると、ここには入りにくい」と感じたという話がありました。

一方で、「抑止力」を高めるためには、普段からあいさつを交わし、雰囲気のよい学校や地域をつくっていくことも大切であると感じました。

